

こもろ 市議会だより

No. **161**
平成27.7.22



6月定例会

9月定例会は、8月25日(火)開会の予定です

暑中お見舞い
申し上げます

主な内容

- 6月定例会の概要 2～3ページ
- 請願・陳情の審査結果、表決結果 4ページ
- 常任委員会報告 4～5ページ
- 常任委員会行政視察報告 6～7ページ
- 個人質問(16名) 8～15ページ
- まち再生特別委員会報告
傍聴席、編集後記 16ページ

国へ「安保関連法案」の拙速な結論は避けることを求める意見書提出を決定

一般会計補正予算 条例改正など36議案を可決

平成27年第4回6月定例会が5月26日に招集され、6月16日までの22日間の日程で開かれました。本定例会では、理事者から補正予算、条例改正、人事等28件が提案されそれぞれ可決、承認しました。また、議員より補正予算に対する附帯決議を求める発議1件と関係省庁への意見書提出を求める発議など7件が提出され全て可決しました。

討論

○討論

国会で審議中の安保関連法案をめぐる請願審査及び国への意見書提出について、それぞれ討論を交わしました。

請願27・5

◆戦争への道を進む「安保関連法案」に反対し、平和と安全を求める請願

国会で審議されている「安保関連法案」を廃案にすること、日本国憲法を活かすことを国へ要請する意見書を提出する請願について、不採択とした委員長報告に対し討論がありました。採決の結果、委員長報告どおり不採択と決しました。

委員長報告に反対討論

6月4日の衆議院憲法

審査会では、自民、公明

維新、民主の各党が推薦

する法律の専門家、3人

の憲法学者が参考人とし

て出席し安保法制集团的

自衛権の行使について憲

法に違反するとの見解を

表明した。

また、集团的自衛権行

使容認は「憲法をいかに

法案に適合させていけば

いいのかという議論を踏

まえて閣議決定した」と

する中谷防衛大臣の発言

は憲法よりも安保関連法

案が先であり、憲法に従

い法律をつくり政治を行

うという立憲主義の原理

原則が逆転している。

委員長報告に賛成討論

請願書では「日本が直

接攻撃されていなくても

いつでもどこでも自衛隊

を海外派兵し、殺傷行為

の危険が高まる戦争法案

だ」としているが、憲法

の枠内での、自衛の措置

の限界を明確に示した

「新3要件」や「海外派

遣の3原則」「PKO参

加の5原則」などを決め

国連決議、国会の事前承

認など、二重三重の縛り

を設けている。この厳格

に定められた要件、手続

きなどを全く無視した極

めて短絡的な主張であり、

また戦争法案などでは全

く無く、戦争を起こさせ

ないための法整備である。

憲法9条 条文

第9条 日本国民は、正義と秩序を基調とする国際平和を誠実に希求し、国権の発動たる戦争と、武力による威嚇又は武力の行使は、国際紛争を解決する手段としては、永久にこれを放棄する。
2 前項の目的を達するため、陸海空軍その他の戦力は、これを保持しない。国の交戦権は、これを認めない。

発議

◆「安保関連法案」の拙速な結論は避けることを求める意見書の提出について

国への意見書の提出について討論があり、採決の結果、賛成多数で意見書の提出を行うことが決定しました。

反対討論

時間をかけて丁寧に、分かりやすい議論を重ねることには必ずしも反対ではないが、請願27・5と同趣旨であり、厳格に定められた要件、手続きなどを全く無視した極めて短絡的な主張のため反対する。国民の命と平和な暮らしを脅かす現実が厳しさを増す中、法整備を行う必要があり、それが抑止力に繋がる。自衛隊派遣は国連決議が前提で、国会承認の手続きでチェックされ日本が支援するに相応しい活動でなければ国会承認は到底得られない。他にも二重三重の歯止めがあり厳格だ。

賛成討論

「安保関連法案」は廃案にすべきと考えるが、意見書提出に賛成した議員の中には、安全保障の整備は必要だと考える議員もいる。法案に対する考え方は違っても、国民への政府の説明が不十分な中、日本がこれからどうなるのかよく分からない、もつと慎重審議が必要だという思いで、意見書案に賛成したと思う。市民の声を国に届けることは地方議会の役割。全国の地方議会でも廃案や、慎重審議を求める意見書の可決が相次いでいる。小諸市議会でも、意見書を上げるべきだ。



表決の様子

主な議案



老朽化の進む坂の上小学校

能となるため、事務用機器以外のAEDや医療機器、空調設備機器及び仮設の建物等も、長期継続契約を締結することを可能とする改正です。

一般議案

◆平成27年度生活基盤施設耐震化等交付金事業大久保配水池建設工事請負契約について

小諸市外二市御牧ヶ原水道組合との事業統合に伴い、大久保地籍に容量1千20㎡の配水池等の新設を行う工事について、請負契約額3億7千127万4千840円、契約の相手方を堀越建設(株)とする仮契約に対し、議会の議決を求められ、原案どおり可決しました。

◆平成27年度小諸市一般会計補正予算(第1号)

○小諸厚生総合病院移転新築の補助金の支出方法について、建設の出来高に依りて、平成29年度までは25億円を限度とし、平成30年度以降は年度ごとに1億円ずつ医療機器購入へ充てる予定でしたが、全て建設費へ充当す

◆長期継続契約を締結することができる契約を定める条例の一部を改正する条例

賃貸借に関する契約の対象範囲を拡大することにより、有利な調達が可

ることとし、国の交付金を最大限受けるため、病院完成予定の平成29年度までに30億円を交付するとして変更案を可決しました。

審議過程においては、

議員より「病院は医療機器に充てる予定だった5億円を建設費へ充当することとしたが、さらなる補助を市に求められるというのではないのか。」という質疑が出され、それに對し、「市としては30億円という協定を結んでいるため、これ以上のことは厚生病院で対応すべき」という考えでいる」との答弁がありました。

○「コミュニティ助成事業補助金」は、御牧ヶ原区の除雪機購入事業や石峠区の放送設備等整備事業他6区の事業に対する補助金1千40万円が計上されました。

○戸籍住民基本台帳費は、本年10月5日より施行されるマイナンバー制度に伴い、個人番号カード交付などに必要な経費1千667万9千円の増額が決定

○環境対策費は、文化センターに7.7kwの太陽光発電システムとリチウムイオン蓄電池を設置する費用520万円余が計上されました。

○英語教育の改革を推進するため、市内全小中学校と小諸高校で取り組みを行い、一貫したプログラム作成や、教材の開発、教員研修などを研究・実践するための費用103万円余が補正となりました。

◆平成27年度小諸市一般会計補正予算(第2号)

新ごみ焼却施設の水源は、施設敷地内に深井戸を掘り、揚水試験を行った結果、必要な水量の1/2以下、水質も一般細菌が基準値の9.3倍と洗浄水には適さない事が判明し、対策として施設北側45m先のかつて畑かんの深井戸のあった場所に新たな井戸を掘るため、工事費など総額1千200万円の補正が計上されました。(P5、3段目を参照)

しました。

○環境対策費は、文化センターに7.7kwの太陽光発電システムとリチウムイオン蓄電池を設置する費用520万円余が計上されました。

○英語教育の改革を推進するため、市内全小中学校と小諸高校で取り組みを行い、一貫したプログラム作成や、教材の開発、教員研修などを研究・実践するための費用103万円余が補正となりました。

人事



建設中の新ごみ焼却施設

任期満了に伴う小諸市選挙管理委員及び補充員の選挙を行い、次の方が当選しました。

◆選挙管理委員

- 清水 克彦氏(六供)
- 小林 邦夫氏(平原)
- 清水 信氏(宮沢)
- 中込 一雄氏(菱野)

◆補充員

- 小林 好子氏(東雲)
- 齋藤みどり氏(井子)
- 小林 文夫氏(藤塚)
- 森山 達彦氏(森山)

また、次の方を同意・選任しました。

◆人権擁護委員

- 土屋 敏子氏(田町)
- 柳澤由美子氏(井子)
- 清水 智氏(滝原)

◆高峰財産区管理委員

- 土屋 利則氏(菱野)

意見書

次の意見書6件を内閣総理大臣ほか関係省庁へ提出しました。

●国の責任による35人学級推進と、教育予算の増額を求める意見書

●「義務教育費国庫負担制度の堅持」を求める意見書

●年金積立金の専ら被保険者の利益のための安全かつ確実な運用に関する意見書

●農協改革をはじめとした「農業改革」に関する意見書

●「安保関連法案」の拙速な結論は避けることを求める意見書

●原発から撤退し、自然エネルギーへの転換を求める意見書

請願・陳情の審査結果

種類	件名	氏名	結果
請願	国の責任による35人学級推進と、教育予算の増額を求める意見書提出に関する請願書	小諸市教職員組合 中沢 照夫	採 択
	「義務教育費国庫負担制度」の堅持を求める請願書	小諸市教職員組合 中沢 照夫	採 択
	戦争への道を進む「安保関連法案」に反対し、平和と安全を求める請願	憲法9条を守るこもろの会 会長 依田 発夫	不採択
陳情	農協改革をはじめとした「農業改革」に関する陳情	長野県単位農協労働組合連合会 執行委員長 赤羽 清吉	採 択
	年金積立金の専ら被保険者の利益のための安全かつ確実な運用に関する意見書（決議）の採択を求める要請書	日本労働組合総連合会長野県連合会 会長 中山 千弘 外1名	採 択
	集団的自衛権行使を具体化する法案についての陳情書	長野県退職教職員の会佐久支部 支部長 吉川 照子	不採択

議案に対する表決状況

本欄に記載以外の議案については全会一致で原案可決されました。●は賛成、○は反対を表しています。

議案名	高橋 公	土屋 利江	掛川 剛	小林 一彦	丸山 正昭	山浦 利夫	早川 聖	竹内 健一	柏木 今朝男	神津 眞美子	清水 喜久男	依田 善典	中村 憲次	小林 重太郎	田中 寿光	福島 鶴子	柏木 博美	林 稔
戦争への道を進む「安保関連法案」に対し、平和と安全を求める請願 ※1	○	○	●	○	○	○	●	○	○	●	○	○	●	●	○	○	○	○
「安保関連法案」の拙速な結論は避けることを求める意見書の提出について ※1	●	○	●	●	○	●	●	○	○	●	○	○	●	●	○	○	○	○

※1 議長は表決には加わりません。

6月8日

総務文教委員会

報告

■ 小諸市特別職の職員で非常勤の者の報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正

質疑 野生鳥獣対策実施隊員の報酬金額の根拠は何か。

答弁 駆除に対する謝礼は要綱で定めてあり、報酬については他市でも同程度の額を定めている。

■ 長期継続契約を締結することができる契約を定める条例の一部改正

質疑 事務用機器以外の物品とはどのような物か。

答弁 AEDのような医療機器や清掃用具、空調等の設備機器及び仮設の建物等を想定している。

■ 市立小諸図書館条例の一部改正

質疑 館長任期の条項を削除

するが、どのような運営方法が想定されるか。

答弁 現行どおり直営で正規職員の館長を置く方法、同じく直営で館長を非常勤特別職とする方法、また、一部事務委託や指定管理等が想定される。

質疑 設置の目的に素晴らしい文言が盛り込まれているが、これにより蔵書や情報発信の方法等が変わるのか。

答弁 基本的には現在もこの理念を基に運営しているが、多くの資料を揃えたり開館日や開館時間を増やす検討をしている。

■ 新庁舎等整備事業小諸市庁舎等建設工事変更請負契約

質疑 工期の延長で開庁に向けたスケジュールに遅れはないか。

答弁 引越し作業、業務開始に問題はない。

■ 平成27年度小諸市一般会計補正予算（第1号）

質疑 坂の上小学校の屋根の補修工事において、なぜ割高なウレタン塗布防水工法を採用したのか。

答弁 工事を行う低学年棟は既にウレタン塗布防水工法が施されており、防水シートを撤去する工程が省かれ、その分経費がからない。

質疑 ウレタン塗布防水工法では、4年に1度トップコートの塗り替えが必要ではないか。

答弁 今後は塗り替えを考慮するが、抜本的な長期改築の方向性を検討する。

質疑 低学年棟以外の工事費は200万円で済むのか。

答弁 雨漏り箇所の特定が難しいため少しずつ補修を行い、経過を見て対応を検討する。

※低学年棟以外の棟も早急に抜本的な対策をするよう附帯決議とすることを決しました。

6月9日
福祉環境
委員会
報告

■平成27年度生活基盤施設耐震化等交付金事業大久保配水池建設工事請負契約について

質疑

制限付き一般競争入札の状況はどうか。

答弁

市内に本社のあるAランクの建設業者で、応札は5社からあった。

■小諸市保健センター条例の一部を改正する条例

質疑

本庁舎移転に際し業務への影響はないか。

答弁

新庁舎では2階に保健センター機能全てを移す業務に支障はない。

■平成27年度一般会計補正予算(第1号)

質疑

小諸厚生総合病院の建築予算が不足した場合の追加補助はあるのか。

答弁

30億円を限度として補助するとの協定通り、それ以上の支援はしない。

質疑

戸籍住民基本台帳に關して個別番号制度に移行となるが、個人情報管理はどうか。

答弁

国との住民異動情報連携を行う基幹システムが構築され、専用回線を使うためサイバー攻撃や不正アクセスは出来ないものであると考える。

質疑

ひとり親福祉事業について、相談件数はどれくらい増えているのか。

答弁

平成26年度は616件と増

加している。臨時職員を1名増員し相談業務の充実を図っていきたい。

■平成27年度小諸市介護保険事業特別会計補正予算(第1号)

質疑

介護予防の取り組みはどうか。

答弁

国の制度改正により介護給付から外れ、新しく生活支援予防介護事業へ移行となる。介護認定を受けていない65歳以上の方の実態調査を行い、サービス内容の検討を行う。

質疑

■平成27年度小諸市一般会計補正予算(第2号)

質疑

新ごみ焼却施設の井戸の水質が悪いため、再度掘り直すということだが、DBO方式の事業であれば、市がさらなる工事費を負担する必要はないのではないか。

答弁

今回の掘削場所は予定していた工事エリア外のため市が費用を負担する。

6月10日
経済建設
委員会
報告

■平成27年度小諸市一般会計補正予算(第1号)

質疑

野生鳥獣保護・管理事業について、この事業は農産物の鳥獣被害の防止が目的であるが、ニホンジカ等の捕獲頭数が増えて、成果として農作物の被害はどの程度減っているのか。

答弁

ニホンジカ以外にもイノシシやハクビシンを含めた農作物被害で、農家の皆さんから報告を受けた過去三年間の状況は、平成24年度が41万円、25年度は326万円、26年度は267万5千円となっており、被害額は減ってきている。

質疑

大型獣等の捕獲管理業務について、くくり罠等の仕掛けがあるが、キノコ狩り、山菜採りに山に入る方が大勢いる。人が

意見

大型獣等の捕獲管理業務について、くくり罠等の仕掛けがあるが、キノコ狩り、山菜採りに山に入る方が大勢いる。人が

意見

人が罠にかかるという事故が起きない様にしっかりと管理対応を望む。

答弁

人が罠にかかることが無いように、看板等の設置方法も含め、安全管理を隊員に徹底するように周知している。

質疑

商工業総合振興事業について、まちなか魅力創出事業補助金の、まちなか博物館についての内容はどうか。

答弁

今回大手門公園前の竈問屋の建物を購入した、そば屋が、そば博物館を計画しているので、それに対する補助金である。

質疑

市営駐車場管理事業についての補正予算の内容について、どの様な修繕をするのか。

答弁

駐車場精算機の発行券読み取りが不具合で正確な精算が出来ず、券を紛失した場合の額を支払わなければならないという事例が、たびた

意見

びあった為の修理対応の予算である。

要望

いつも対応が後手後手になっている為、今後は、管理費が割高になってもしっかりと維持管理をして欲しいと要望した。



市営駐車場精算機



常任委員会 行政視察報告

行政視察報告会を実施

7月7日(火) 13時半
17時まで、小諸市役所
3階の委員会室で、小諸
市議会行政視察報告会が
開催されました。

常任委員会の行政視察
について、その目的や内
容を報告し、視察の成果
として市への提言を行う
ため開催し、広報により
市民の皆さんにも広く呼
びかけを行い公開にて行
っています。今回は、市
職員を中心に市民の方も
含め総勢62名の方に参加
をいただきました。

視察内容が身についた
と実感しました。

発表後に参加者からの
質疑の時間を設け、その
中では、「6次産業化と
中山間地域活性化」や
「バイオマス活用」、「小
中一貫教育」、などの話
題ついて質疑があり、持
ち時間1時間では足りな
くなるほど、質問者と議
員間で活発な議論が交わ
されました。

今後はより多くの市民
の参加を呼びかけ、より
充実した報告会としてい
くことが課題と言えます。



行政視察報告会の様子

総務文教委員会行政視察

山形県新庄市・村山市・東根市

平成27年5月13日～15日
福島県伊達市・飯館村

○新庄市の小中一貫教育
「萩野学園」は6歳か
ら15歳の子供がいる学校
で、平成17年から小中一
貫校の検討が始まり、小
学校3校と中学校1校が
統合され今年4月から開
校した学園です。義務教
育9年間を計画的・継続
的な教育を行うことによ
り学習意欲等に基づいた
きめ細かい指導ができ、
個性や能力を伸ばすこと
等を研修しました。

とにより「命の大切さ」
も学んでいました。

○東根市の子育て支援
子育てするなら東根市
を売りにしており、子育
てのワンストップサービ
ス向上という考え方から
子育て健康課、健診室、
休日診療所、土日も開所
の保育所、子育て支援セ
ンター等が同一建物内に
整備されており市内外か
ら子育て中のお母さん達
が来て活用している。こ
れが要因なのか37年間市
の人口が増加している事
には感心しました。

○伊達市の市民協働
協働のまちづくり指針
策定から始まり、全公民
館を交流館に移行すると

○村山市の子ども救命士
世界一の救命都市であ
るアメリカのシアトルで
は小学校で救命講習を行
なっています。村山市で
も早い段階での教育や意
識づけが重要という見地
から小学校3年・5年・
6年を対象とした救命授
業を行っています。3年
生は応急手当の必要性や
大人を呼ぶことでの救命
対応、6年生は心肺蘇生
やAEDの操作を学んで
おり、各学年で「できる
範囲での救命」を学ぶこ



小学生の受講の様子



東根市夜間診療所

共に地域自治組織で運営
開始する他、公募提案型
協働モデル事業を推進し、
地域の多様な課題につい
て市民の発想を活かし市
と協働で対応している。
特に「婚活事業」は市が
参加することで利用者に
信頼と安心を与え、官民
協働の成功事業となつて
いる。

○原発事故後の飯館村
原発事故で全村避難と
なった村内の除染作業や
除染物の中間処理作業の
視察を行いました。

いたる所に汚染土の入
った行き場のないフレコ
ンバックの山を見て、事
故の深刻さと処理のむず
かしさを痛感しました。

福祉環境委員会行政視察

平成27年5月13日～15日
北海道下川町・留萌市

○北海道下川町
森林共生低炭素まちづくり

下川町は毎年50Haの森林伐採と植林が60年間のサイクルで繰り返す事が出来る持続可能な循環型森林経営を確立している。

平成15年には環境・社会・経済に配慮した森林管理が認められ世界的な森林承認（FSC承認）を北海道で初めて取得し、認証面積は7千150Haとなっている。

林産域内生産額は33億円となっておりバイオマスの有効活用と最適化を図り、地域特性を最大限活かしたバイオマス産業を創出する取り組みを加



下川町 木質チップ工場

速させており、環境未来都市に選定されている。

下川町介護予防事業の取り組み

下川町では、介護予防にも力を注いでいる。

斬新な方式を取り入れることにより効果を上げている事例として、安否確認システム導入により、人感センサーで人の動きを感じ、朝の起床と夕方の就寝時間帯に人の動きが感知されない場合、役所の端末に信号が送られ、パソコン画面に対象者の氏名が表示される。役所が本人に電話を掛けても出ない場合は地区の見守り協力員に連絡し、自宅に訪問してもらい安否確認を行う。ITと人の組み合わせにより連携対応が取れる優れたシステムである。この他7つの事業展開により介護予防事業に取り組み、注目すべき効果を上げていた。



るもい健康の駅

○北海道留萌市

るもいコホートピア（民学官連携）構想

「るもい健康の駅」は地域住民の健康維持増進を目的として活動を行う施設で、市民が主体実践する健康づくりを支援し、健康に対する意識向上を図るとともに予防医学の実践拠点として医療、健康、介護を通じて、市民に価値ある医学オープンフィールドを樹立している。また、大学や企業の研究を誘致し地域の活性化を図る取り組みを行っており、市民に有益な施設として注目される。

経済建設委員会行政視察

平成27年5月20日～22日
宮城県登米市 岩手県盛岡市・紫波町・遠野市

今回経済建設委員会ではテーマを絞り、東北地方の4箇所について行政視察を実施しました。

○宮城県登米市

視察テーマ

地域ブランド戦略と6次産業化の取り組み事例
中山間地域補助金を利用して地域が活性化した事例について

●参考事項

6次産業化については、地域ビジネス創出の人材育成に重点を置いた取り組みと実績。
中山間地域農業振興に

ついては、耕作放棄地対策としてのとうもろこし等の栽培と直売所での販



紫波町の交流施設

売で成果を挙げている実績を紹介していただいた。

○岩手県盛岡市

視察テーマ

盛岡城跡公園も小諸市懐古園と同様に所有者が複数であるが、公園管理保存計画の中の、盛岡市所有地と他所有者（民間・宗教法人）との棲み分けをどうしているか。

●参考事項

盛岡城跡公園は市有地・民有地・宗教法人所有地区画が明確である。また保存管理区分として第1種～第4種地区まで分け、各々に管理基準があり、それに従い計画策定をしている。

○岩手県遠野市

視察テーマ

補助金に頼らない公民連携による駅前中心市街地の活性化の取り組み事例について

●参考事項

紫波駅前都市整備事業



視察の様子

「オガールプロジェクト」が、民間のチームリーダーによって行われた。公民連携で補助金に頼らない活性化の成功例といえる。

視察テーマ

交流人口拡大による定住化促進の取り組み事例と実績

●参考事項

「で・くらす遠野」のネーミングで、全国から問い合わせが多くあり「遠野ファンクラブ」から始めて、過去9年間で61世帯121名移住の成果があった。

地域づくりの拠点として、
小中学校を位置付けるべきではないか



小林 重太郎
(改革の嵐)

いけばと考えている。

質問

「学校給食及び学校改築計画策定事業」の今後の進め方は、どうなっているか。

教育長

加速すると思われる人口減少や少子化、また学校施設の老朽化などへの対応から、平成28年度中を目途に学校改築計画を作成していきたい。学校・保護者・地域など、関係する皆様との十分な協議と連携を図ることが重要と考え、どなたでも参加できる懇談会を秋頃から開催する予定。子どもたちの教育環境の充実を目的の中心に据える。

市長

先進事例においても有効性が確認できており、検討が必要であると認識している。しかし、小諸市においては、小中学校の通学区は必ずしも旧町村単位の10地区と整合していないことから、直ちに小中学校を地域づくりの拠点とすることは現状では困難である。ただ、今後の学校改築計画などを進める中で、小中学校を地域づくりの拠点として活用していくことを模索して

プレミアム付商品券発行事業について



福島 鶴子
(改革の嵐)

か。

経済部長

私は、はずされた事情は承知していないが、民間会社の中に商工会議所内でこれに関わり、ノウハウを十分持っている者がいると言う事で、この評価項目は同等だと判断し、はずしたと推測できる。

質問

事業者選定の経緯と、選定方法・結果は公正であったか。

発行実績が13回ある小諸商工会議所の他に、民間会社からこの事業を行いたい旨の要望があり、プロポーザル方式により選定し、民間会社に決定した。

質問

プロポーザル方式には、長所

もあるが弱点もある。評価が人の手にかかっている事から「結果が必ずしも公正である保証はない」ということがある。今回、評価する項目から①この事業に対する過去の実績②会社の概要の二点が削られているのはなぜ

経済部長

「実績」を評価項目からはずしたことは、会議所も了解済みであった。

(このことは、後日、事実と反することが判明。経済部長の陳謝と議事録訂正が行われた。)

子どもとメディアの問題について

小諸市の取り組みはどうか

質問

幼児期からのメディア接触、そして長時間接触が子どもたちの間で進行しており、ネット依存症の中高校生が増加しているなど心身の成長に様々な悪い影響を及ぼしている。こうした状況をどのように捉えているか。

市長

長時間のメディア接触、幼児期からのメディア接触がいかに子どもの人格その他を損なうか改めて危機感を持った。市としてどのような対応をとっているか、教育委員会部局と相談しながら、市庁部局も併せて合同会議等持ちながら、対策を立てていかなければならないと思う。



小林 一彦
(市誠会)

質問

行政として、児童生徒の長時間メディア接触の規制について真剣に考え、実行していく時期が来ていると思うがいかがか。

市長

長時間メディア接触については、保護者とお子さんの間で使用に対するルールを決めて使用するようにしていただきたい。規制については、PTA等保護者の皆さんの声、教育委員会と相談させていただき、規制が必要なのか否かを考えさせていただきます。

質問

市内の児童生徒のスマホ等の所有状況、使用状況の実態を把握するための調査は必要ではないか。

教育長

原則学校への持ち込み禁止であるので、実態がつかみにくい。しかし、実態を把握するという意味では、調査を定期的に行うということは、必要かと考える。

先行投資的な上下水道の整備はどうか

農業再生協議会の今後の役割りはどうか

質問

住宅地としてニーズの高い地域をさらに優良な住宅地とするため、先行投資的な上下水道の整備はどうか。

市長

公共下水道の管渠整備は限られた予算の中で投資効果の高い地域を優先的に進めるため、和田処理地区を重点的に進めたい。

質問

10年後の農業従事者と荒廃地対策はどうか。

市長

農業従事者の全国平均年齢は66歳である。10年後には本市のような中山間地域では高齢化によるリタイアに加え、米価の下

落等により耕作放棄地等が増え、豊かな農村景観や国土保全、水源涵養などの多面的機能が失われる懸念がある。現在、農業経営に意欲がある方を認定農業者とする取り組みと、引き続き新規就労者の確保を図り、地域農業の担い手確保・育成に努めているが、耕作放棄地の増大は避けられないと認識している。

農業再生協議会の今後の役割りをどう捉えているか。

市長

農業再生協議会は、国の経営所得安定対策の推進とこれを円滑に実施するため、行政と農業者団体等の連携体制構築等を目的としている。国では、平成30年で米の減反政策を廃止する方針だが、転作補助は継続される予定なので、協議会の役割として、転作推進と耕作放棄地の再利用、担い手の育成等に関係組織と連携し、積極的に取り組むことが必要と考える。



清水喜久男
(新政会)

農業再生協議会は、国の経営所得安定対策の推進とこれを円滑に実施するため、行政と農業者団体等の連携体制構築等を目的としている。国では、平成30年で米の減反政策を廃止する方針だが、転作補助は継続される予定なので、協議会の役割として、転作推進と耕作放棄地の再利用、担い手の育成等に関係組織と連携し、積極的に取り組むことが必要と考える。

市民の健康・命を守り、安心して暮らせる
地域づくりのために



柏木今朝男
(公明党)

キャンペーンを行うなど様々な取り組みをすべきでは。

民生部長

市民の健康を守ることは行政の使命であり、厚生病院等との連携で色々な取り組みをしたい。

質問

自主財源確保策の一つ「ふるさと納税」の充実とPR方法の工夫で寄付先に選ばれる取組を。

市長

PR方法や返礼品など成功事例も参考に、さらに工夫したい。

質問

コンビニを活用した行政サービスの拡充を考え、健診実施やAEDの設置はできないか。

市長

市内に24時間営業のコンビニが19店舗あり、AEDの設置は全て市の負担だと経費も多額となる。設置の必要性や有効性を検証していきたい。

民生部長

健診受診率向上のため、情報収集しながら研究したい。

「第4次基本構想における土地利用構想」
「市有地情報の公開」「職員採用」について



丸山正昭
(市誠会)

総務部長

第5次基本構想における土地利用構想は、地区ごとに考え、地域の皆様とともに考えていくプロセスを検討している。

質問

市有地情報を公開しているか。

市長

市有地の情報は、市役所本庁舎一階の行政情報コーナーで公開している。また、売却可能な土地は、広報こもろや市のホームページで知らせ、入札や随意契約により売却を進めている。

総務部長

今後、新庁舎に移るが、展示情報コーナーへ写真を付けた台帳を置くなどして、市民の皆様にお知らせしていきたい。

質問

現在の技術職の採用計画は。

市長

現在、平成23年度比3名増となっている。今後の採用は、事業の内容に応じた適正な配置が必要。総合的に判断し対応する。

小諸市における立地適正化計画について

質問

全国的に人口減少が進む中、地方の活力を維持し、医療、福祉、商業などの生活機能を確保し、市民が安心して暮らせるまちづくりを進めることが重要だが、小諸市が進める都市再生整備計画とはどのようなものか。

市長

国の社会資本整備総合交付金を活用して都市再生に必要な公共施設の整備を進めているが、本制度を活用するために必要な計画が都市再生整備計画である。小諸市では「持続可能な活力あるコンパクトシティ小諸」の再構築を目標に、市役所周辺の54ヘクタールを区域とし、計13



依田善典
(創正会)

か所の整備事業を平成29年度までの5か年で行うことを盛り込んだ計画となっている。

質問

都市再構築戦略とはどのようなもので、いかに進めるか。

市長

都市再構築戦略事業は、立地適正化計画を作成した上で生活に必要な都市構造の再構築を図ることを目的としている。小諸市では新庁舎等整備事業の確実な財源確保のため、平成26年8月に都市再構築戦略事業に移行させ事業展開をしている。

質問

定住人口増加の推進と、どのように結びつけていくのか。

市長

高齢者、子育て世代に生活環境整備を図ることが重要と考え、立地適正化計画で各種サービスの効率的な提供を図れる地域、都市機能誘導区域及び居住誘導区域の設定を行い定住人口の増加を図りたい。

歴史資料管理の現状と、今後の対応について 観光振興・農業振興について

質問

平成24年にも質問したが、懐古園内にある小諸市郷土博物館内所蔵の膨大な歴史資料の現状と、管理はどの様になっているのか。「真田丸」対応はどうか。

市長

郷土博物館については、平成21年に入館者の減少、建物の老朽化等により完全閉鎖になっている。本市の観光振興を図るため、歴史資料の一般公開等の活用は重要である。貴重な歴史資料等は市民の貴重な財産でもあり、徴古館等展示施設のあり方や整備方法も合わせて歴史資料の有効活用を「真田丸」に向け検討努力をしていきたい。

質問

平成28年にNHK大河ドラマ「真田丸」の放映が決定になったが、観光客誘致に向けた小諸市のPRに対して、「小諸フィルムコミッション」の活動をどのように捉えているのか。

市長

「小諸フィルムコミッション」の活動は小諸市の歴史と文化を積極的に発信している団体であり、今後も期待したい。今後も市と連携した大河ドラマのロケーション地の誘致実施に向けて、会員の増加による運営強化や組織強化を期待したい。

質問

6次産業化についての取り組み、販売拠点の考えはどうか。

市長

私の公約でもあり、補助金の活用で販売拠点整備も進めている中で、整備の方法や、場所を検討し、農業者の意欲を高めながら、加工施設の併設も検討、具体化してから報告をしたい。



中村憲次
(新政会)

介護予防指導者の育成はどうか



土屋利江
(公明党)

いのないよう心がけていく。

質問

介護予防活動をするためのボランティアの育成をどのようにするのか。

市長

平成13年度から社会福祉協議会で介護予防指導者研修を開始し、養成研修を10回とレベルアップ研修を10回開催している。平成26年の地区指導者は22名。これまでの登録者は362名で増加しているが、活動している方は限定される。地区指導者の地域活動の支援、存在の周知や後継者の育成を図りたい。

提案

東御市は人間ドックや保健指導、ウォーキング教室への参加者にポイントを与え、たまると景品と交換できたり、上田市もイベント参加や特定健診にポイント制を取り入れ、温泉施設の無料券などと交換できるそうである。小諸市も市民全体で広げる取り組みを提案したい。

質問

こもろはす食育計画が今年度で継続見直しになるがどうか。

民生部長

今年度一回目の食育部会を開いた。計画は、子どもたちの食育、市民の食べることの一歩の基本になるため、もう一度計画を見直し、食育に取り組みたい。

質問

複雑な食物アレルギーの子どもの数が増える中、現在の調理員の人数で対応ができるのか。

教育長

限られた人員の中でアレルギー食の対応をしているが、非常に神経を使って精一杯やっている。関係者と連携をとり、間違

「災害時での小旗提示・子ども救命士育成」の提案・「小諸駅舎」の再構築・「動物園・遊園地」観光スポットに!



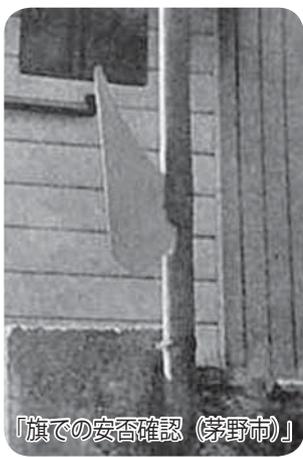
竹内健一
(創正会)

質問

災害時の安否確認で住居屋外に小旗の掲示はどうか。

市長

住民各戸での救助要請及び避難完了等、情報が一目で確認できるため区長会と検討する。



「旗での安否確認(茅野市)」

質問

子ども救命士を育成することで救命率の向上、また、市民啓発につながるか。

市長

子ども救命士制度の創設予定は現在ないが、教育委員会とも連携し研究課題とする。

教育長

難しい課題だが研究していく。

質問

動物園・遊園地の新たな観光スポットとしての施策はあるか。

市長

他市での園のイベントや来園者の声を反映し、新たな視点から誘客を図る。

質問

小諸駅舎の再構築の考え方は。

市長

協議会での話し合いは開始していないが、駅前広場の整備も含め、市民協働で再構築について取りまとめしていく。

建設部長

費用は、駅舎所有のしなの鉄道が建て直すと国からの補助金が該当となる可能性はあるが、市が主導で構築するとJRも含め3者での按分になるかと思う。

市民参加と協働は、行政と市民が 尊重し合って関わっていくことではないか

質問

市政への市民参加のありかたについて検討した「市民協働推進市民会議」の報告をどう受け止め、今後に活かしていくか。

市長

報告内容を庁内で共有し、具体的な仕組みづくりを進めたい。市民会議は継続し検討を進める。

質問

市民協働を進めていくには、担当職員が果たす役割は重要な。職員の研修はどうか。

総務部長

これからの市職員に求められていくスキルや知識はいろいろあり、会議進行は重要なので、研修等をつけていきたい。



柏木博美
(日本共産党)

質問

学校長期改築計画について、緊急的な改修も含め、財政措置の確保が必要だがどうか。

市長

やるべきことは当然やっていかなければいけない。

質問

少子化が進む中、小諸の教育をどうするかを土台に、学校改築を検討する必要があると思う。策定のスケジュールを市民に示すべきではないか。

教育長

事務局の中でスケジュールを立てて教育委員会でも検討したので、市民の皆様にも示して、市民協働で進めていきたい。

質問

マイナンバーのメリットだけではなく、情報漏洩した時のデメリットもあるので、市民に知らせる必要があると考えるが。

企画課長

注意すべき点という形で知らせていきたい。

防災士の組織化を図ったらどうか 災害時の避難施設建設に国の交付金活用はどうか

質問

市はこれまで各地域に防災士を育成してきたが、防災士の横の連携が必要と考える。地区単位、市単位で組織化を図ったらどうか。

市長

防災士の皆さんの意向もお聞きしながら、組織化に取り組みしていきたい。

質問

防災士同士のレベルアップを図る実践的な講習会を開いたらどうか。

市長

現状に即した防災士同士のレベルアップを図る実践的な講習会が必要であると考えるので、



掛川剛
(日本共産党)

他市町村の防災士活動などを参考に具体的な講習会について検討していく。

質問

災害時の避難施設について、各地区の集会所施設が地震などで使えないところがあるが、建て替えなどの際の助成制度をもっと周知すべきではないか。

市長

市の単独事業補助と宝くじの助成事業をお知らせしている。

質問

隣の町では地元負担の少ない介護予防関係の交付金を使って施設をいくつも建てている。これからは介護予防も時代の要請なので一石二鳥になる。市では検討したか。

民生部長

事業費の上限は3千万円。全国的に見て先進的な事業に交付される。いろいろな条件をクリアできれば可能性はある。要望等があれば相談にのっていききたい。

スポーツ推進計画策定の内容と時期は
誕生祝い金の新設はできないか



高橋 公
(市誠会)

質問

スポーツ推進計画について、高地トレーニングエリア構想との関係は、スポーツ施設整備を含んでいるか、いつできるのか。

市長

高地トレーニングエリア構想は、スポーツ推進計画の中で方向性を示していく。

教育長

スポーツ施設整備を基本施策のひとつとした小諸市スポーツ推進計画にしたい。

今年度末には策定し公表したい。

今までずると延びてきたが、先ほど約束したように今年度中にしつかり計画を策定した



南城公園マレットゴルフ場
(フェンスの向こうは野球場)

質問

岡山県高梁市では第4子の祝い金として100万円を送った。小諸市独自の誕生祝い金制度を新設してはどうか。

市長

出産祝い金については長野県では12市中2市の実施であり、今後検討するという市はない。

小諸市においては出産祝い金は現在は検討していない。

要望

移住促進と併せて、今後検討して下さい。

歴史的文化遺産を護るには、

このままで良いのか



早川 聖
(日本共産党)

質問

13の古墳が、市の重要文化財や史跡に指定されているが、市は現状を把握しているのか。

教育次長

指定し、標識等を立てた後の管理等が行き届いていない。現状も全部は把握していない。

質問

市指定文化財の現地を視察したところ、多くの古墳は、写真で示した状況が数多く、降雨や風雪に耐えられず崩落しているようなものもあった。

多くの文化財は、個人所有物であり維持管理が大変なうえ、出土した遺物も保管している。代が変わったらどうなるか分

からないといった声も聞く。

この現状に対して、率直な感想を聞きたい。

教育長

私自身も興味・関心があり、気を付けているが、しつかりと後世に残すための保存をしなければとは思っている。

教育委員長

今回こうやって議員から取り上げていただいて、私どもも改めて、真摯にここにどれだけの関心と責任を感じていたのかということを改めて反省させられる。

併せて感じるのは、指定そのものが、後世、次世代につなぐのみでなく、今の子どもたち、あるいは地域の生涯学習等にもどんな形でつなげるのか、この「文化遺産を生かす」という視点をもっと大きく考えなければいけないと、改めてそんな実感を持たされた。

ターニングポイントに立つ小諸 成功に導く主体の転換を!!

質問

市役所をはじめ各施設が次々完成し、市制60周年記念式典も予定され、数十年に一度という機会を迎えるが、どのように市民と共有していく考えか。

市長

まずは市民サービスを滞りなくスタートさせることを第一に、工夫していきたい。

質問

小諸精神を象徴する梅花のみちはどんなスペースになるか。

建設部長

今後、内部で検討する。

質問

公共施設の維持管理は、今後自治体の最大の政策課題の一つ

になってくるが、新施設のランニングコストはどうなるか。

市長

会計が変わるので一概には比較できないが、容積が大きくなる分、余計に費用はかかる。

質問

厚生病院への補助金前倒し、天池総合グラウンドの埋立て工事変更、大型工事の完成による工事費の確定など、財政状況に変化が生じているので、再度、長期財政試算を出すべきでは。

財政課長

昨年と同時期の8月を目途に作成してまいりたい。

質問

まちづくりは住民の自治意識が鍵になる。お任せ主義から自分たちでやる主体の転換が必要だ。市長が最終目標に掲げる風土改革に向けてはどうか。

総務部長

市民の皆様当事者意識を持っていただけるように行政も動かなければいけない。



神津 眞美子
(新政会)

本町線（旧北国街道） を歩行者優先に

質問

本町通りは小中学校の主要な通学路であり、旧北国街道のまちなみを残し、観光客も多く訪れているが、危険度は増加している。対策はどうか。

市長

歩行者優先道路として平成12年7月に都市計画変更を行い、幅員を16mから8mに変更した道路である。しかし、都市計画決定した道路の形態で利用されていないのが現状である。

質問

交通社会実験を一年間実施されたが、結果はどうか。

市長

交通実験の方法は道路の両側



「本町通り（交通実験）」

に埋没してあるポール166本の内、商店入口等を除く75本を引き立て、車両と歩行者の交通量を測定した。一年間の実験結果は、実験前と大きな違いはなかった。

質問

東郷土西原線が補完された時には、都市計画変更の目的である歩行者優先道路（一方通行や通行止め）にできるのか。

市長

歩行者優先道路なので、一方通行や車両通行止めという形態が望ましいと考えるが、地元の皆様の合意を得るには難しい現状である。話し合いの機会を設けて前進できればと考えている。



林 稔
(無所属)

6月11日
まち再生
特別委員会
報告

3月定例会以後は、部会の活動を中心に行ってきました。

にぎわいづくり部会

中心市街地の現状から見える課題を探るため、中心市街地の視察を行い、様々な角度から議論を重ね、にぎわいづくりに必要な課題を4つにまとめました。

- ① 魅力ある商店街の仕掛けづくり
- ② 若者・子育て世代が集まるまちづくり
- ③ 医商連携のまちづくり
- ④ 歴史的文化遺産の活用による交流人口増

今後は、この4課題について、市民・関係者・関係団体等と意見交換会を行い、更に調査・検討を進め、行政への提言に向けてまとめを行って



市内視察の様子

公共交通部会

「市内の交通弱者に公共交通の利便性を提供する施策」という観点から、小諸市の公共交通がどうあるべきか議論を重ねました。

部会の中で出された意見等については、10月からの試験運行に向け、予約制相乗りタクシーと定時定路線バスを組み合わせた小諸市公共交通の新しいシステムについて検討している「小諸市コミュニティ交通協議会」の中で、

議会報告会

11月上旬 開催予定
お出かけください。



意見交換会の様子

きこえます。

議会選出の委員が、意見を出していくこととし、協議会の今後の行方と事業の進捗状況を注視していくこととしました。

建築士会佐久支部と意見交換を行いました

同支部青年女性委員会の皆さんが本年2月15日に開催された、シンポジウム「城下町小諸を問い直す」で発表した、まちづくりについての小諸市民へのアンケート調査の集計分析結果を基に、具体的な提言をいただき、

有意義な意見交換となりました。

小諸厚生総合病院より、新病院整備計画及び収支計画の説明を受けました

病院側から、一般の建築資材の高騰、消費税率引き上げ等により、平成25年3月に作成した計画を見直し、延床面積は1割減、病床数も25床から26床にするなど建設規模を縮小したが、病院機能に影響はなく、医療サービスは十分確保できる、平成29年12月の開院を目指していくとの説明があり、当委員会では、今後小諸厚生総合病院の再構築について、協定書通り履行されるか注視していくこととしました。

今後の活動方針

今後は、部会ごとの活動を中心に市民・関係者・関係団体等と意見交換会などを行い、第5次基本構想に反映出来るよう、9月定例会を目的にまとめを行い、行政へ提言を行うこととします。

傍聴席



新町区
鴨志田 英人 さん

私はよく議会を傍聴しますが、前回、今回と議員さんが新しくなり色々な面で若返ったように感じます。質問する議員は実際に自分の足で見て聞いて調べている事が伝わ

ってきます。答弁側の人もしつかりと専門的に答えている感じがします。

ただ残念なのはいつも傍聴者が少ない点です。議員さんも自分が質問する時は支持者の人にもう少し声を掛けるのかして増やす工夫をしてみたいかがでしょうか。

あといつも思うのですが、答弁側の人は質問内容が前もって分かっているわけですから他の課の部長さんたちはいなくともよいのでは、自分の仕事時間をもつたいないのではと思います。

編集後記

小諸看護専門学校「飛翼祭」に参加しました。南庭駐車場では、「献血」をしました。玄関の炊き出しコーナーではすいとんと包装食をいただきました。第13回目のテーマは「つなぐみんなの心。こもかん救護大作戦」で、災害について備えてできることの展示、体験学習ができました。どのコーナーでもすがすがしい挨拶の生徒さんに迎えられる感動しました。お目当てのソーラン節が始まる前に健康チェックを受け3階に上がりました。若さいっぱいソーラン節にまたまた感動！その後のフリーステージの男子生徒だけのダンスは特にかっこ良かったです。今年、新庁舎工事のために狭い場所での発表で残念でした。小諸市にとっても崇高な目的を持った看護学生に期待します。

(土)

